

研究構想シート		学校名	江津市立川波小学校
		氏名	加地貴子
A 研究主題 自ら思考し、自分の言葉で表現する児童の育成 ～国語科における主体的な読みにつながる指導の工夫～			
B 研究の目的 児童一人一人が自ら問題意識をもって思考し、自分で適切な言葉を選んで表現することのできる国語科の授業における指導方法を明らかにする。			
C 子どもの実態 ◎子どもらしい快活さと素直さを持ち、学年関係なく仲良くすることのできる子どもが多い。 ◎何事にも真面目に取り組む子どもが多い。 △読んだり書いたりする力、相手や目的に応じて分かりやすく伝える力に課題がある。 △協働して課題を解決していくためのコミュニケーション力に課題がある。 △学力調査の意識調査やQUアンケートでは学習意欲が低い傾向にあるという結果がでている。	E 手立て・内容（研究仮説） 視点①「問い」や「思い」、「考え」をもたせる指導の工夫 児童が聞いたり読んだりしたことに対して「問い」や「思い」、「考え」をもつことが、自ら思考することにつながる。と考える。 視点②「伝え合うよさ」が実感できる指導の工夫 教材文や話者、筆者、作者との対話によって思考を深めることに加えて、異なる知識や経験をもつ友だちと対話することによって、児童が主体となる学びにつながる。と考える。		D めざす子どもの姿 ○自分の思いをもちながら聞いたり読んだりし、進んで自分の思いを表現することができる児童（低学年） ○自分の考えをもちながら聞いたり読んだりし、友だちと考えを伝え合うことができる児童（中学年） ○批判的に聞いたり読んだりし、友だちと考えを伝え合うことで思考を深めることができる児童（高学年）
	F 検証方法 (1) 校内研究授業による評価・・・授業者の手立てによって結果がどうなったかを明らかにする。 ○めざす児童像との照らし合わせ ○児童の表情、つぶやき、発言、取り組みの様子などの見取り ○児童が記述したもの（ノート、振り返り、ワークシート等）からの見取り ○授業者が設定する「授業の視点」についての評価 (2) 児童アンケートを2回実施し、児童の変容や国語科の授業に対する意識を分析する。		
	G 研究計画 ・ 6月 市教委訪問指導：授業プラン立案研修 ・ 6月 研究授業（6年） ・ 6月 児童アンケート 1回目実施、分析 ・ 夏休み 全国学力調査の分析と授業改善について ・ 10月 研究授業（3年） ・ 1月 児童アンケート 2回目実施、分析 ・ 1月 研究授業（2年） ・ 2月 県学力調査の分析と授業改善、アクションプラン改善について ・ 3月 研究のまとめと来年度の計画 ※研究授業は全学年・学級で実施（実施日時を今後決定するものあり）		